

仙人通信 229 大楠山(241m)

大楠山は三浦半島で最高の高さの山で、国道 134 号の自衛隊武山駐屯地の北側に聳え、山頂に白い大きな無線の中継所が目につく山である。又、関東ふれあいの道の神奈川県の 4 番目のコース、更に神奈川景勝 50 選の山でもある。

国道 134 号の立石公園の駐車場に車を置き、国道沿いを前田橋バス停まで歩いた後、前田川沿の遊歩道を進み、登山道の標識に従い山頂へ向かい、下山は林道を芦名地区にある大楠山登山道入口(道路標識)に下山した後、134 号線を立石公園まで戻るコースとした。

海の中にポツンと立つ岩に因んで名付けられた立石公園の駐車場には、20 台程の駐車スペースとトイレが設けられており、ここがスタート点である。

国道沿いの歩道を 15 分程で前田橋バス停があり、ふれあいの道の標識に従い 5 分程でお国橋である。ここからは川沿いに階段を降り、石や階段等でせせらぎ沿いに作られた遊歩道を瀬音や小鳥の声を聴きながら進む事 20 分程で、登山道へ到着だ。右手の橋を渡り、丸太状に作られたコンクリート製の階段がスタート点である。アオキやシダそして頭上にはマテバシイ等の緑に覆われたコースである。10 分程進んだらベンチが置かれ、緩やかなコースとなる。8 分程で鞍部となり、今度は木柱の階段が 150 段程で尾根道である。背丈を越す笹やアオキ等の緑に覆われ展望はさほどないコースだ。小さなピーク地では赤土が確認された。緩やかなコースとなり、登山道に入ってから 50 分程で電波塔のある広場である。ここには小さな展望台が設置されており、海を隔てて伊豆半島・箱根・丹沢が一望できたが、富士山は山頂が雲に覆われてしまっていた。

階段を登る事ほぼ 10 分で山頂である。山頂にも展望台が設置され 360° の視界があると言うので期待したのだが、強風のため閉鎖されてしまっていた。残念・・・

ベンチからは、房総半島・三浦半島が眼下に・・・！更に油壺を初め小さな岬も望めた。

広場の周りに植えられたオオシマサクラも咲き始めて慰めてくれた。山頂の三角点であるが、50 cm 程のコンクリートの筒に埋められ頭部のみが出ているのは初めてであった。

ベンチに座りリックを開いていたら突然、頭の横から鳶が近づき小生の手の指を掴みかけたのに驚いた。餌を狙っての行動であったようなので、パンの切れ端を投げてやると飛んで来て指で掴んでは舞い上がっていった。初めての経験でした。休憩後、国際カントリークラブの入り口の地点まで下がり、電波塔等の管理用に作られた林道を芦名へ下山するコースである。途中にはオオシマザクラの咲くビューポイント・芦名堰そして三浦氏で有名な秋葉神社等をへて車に戻った 3 時間 15 分 (16000 歩) の山旅でした。(R5.1. 31)

せせらぎ遊歩道



電波中継塔



山頂



三角点



山頂展望台

